

はにい

みんな同じだね

平成27年6月16日



「みなさん、今日は紙版画をします」
「かみはんがってなぁに？」
「じゃーん！こんな感じのものです」
「うわぁ！せんせいのおかおみたい」
「そうです！今日はみんなにも作ってもらいます。まずは自分のお顔をじっくりと鏡で見てください」

用意してあった手鏡を使って、自分の顔を覗き込み、周りの友達顔と比べる園児たち。

「めがある」「はながある」と大騒ぎだ。

「がようしでつくるの？」

「そうです！よく気がつきました」

「画用紙でお顔の部分を作ったら、糊で貼ります」

「かみのけは、だんぼーるをつかうの？」

黒板の前のテーブルに、使用する順番に道具が並んでいる。園児たちはテーブルの上を目で探りながら、先生の言葉に集中する。

次はきっとローラーとインクの説明だろう。

その時だ。

1人の園児が、突然立ち上がって、ローラーに触れようとした。

と同時に、黒板の前に立っていた先生が、その園児の伸びた手をにぎって、さっと横に座り込む。

「ちゃんも楽しみだよねえ、早くやってみたいよねえ、次はどうするんだろうねえ」
先生はゆっくりと語りかける。そして

「みんなも楽しみだよね、ねえみんな。みんな同じだね。」

クラスみんなにも笑顔で語りかける。

わくわくする気持ちを受け止めてもらったその園児は、先生と一緒に席に着いた。

クラスみんなの製作への「楽しみ」は、共感しあう言葉により、一層深まった。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合きましょう。
ご意見・ご感想は inochi4027@pref.kanagawa.jp